

文教大学藍蓼会 平成23年度 活動報告

文教大学との連携を推進し、母校の発展に寄与するとともに、本会の一層の充実・発展に向けて、平成23年度総会において承認された活動計画に基づき、平成23年度の事業を以下のとおり展開した。

1、卒業生原簿の整備と管理

- 1) 藍蓼会で管理している卒業生の原簿の整備をはかりました。
- 2) 平成23年度からの文教大学教学システム変更にとまない卒業生データを大学・藍蓼会の双方で管理し、別々に管理していた卒業生データを一緒に管理していくことになり、運用がはじまりました。

2、支部活動の活性化の促進

- 1) 県支部代表者研修会を開催しました。
平成23年6月26日、総会と幹事会に先立ち開催いたしました。
16県の支部代表者が参集し支部活動について意見交換を行いました。
- 2) 各県支部総会、研修会、新年会等へ講師、役員を派遣しました。
北海道支部総会、山形県支部総会、三重県支部総会、青森県支部新年会、岩手県支部交流会、富山県支部総会、佐賀県支部交流会、島根県支部結成支部総会、和歌山県支部打ち合わせ会
- 3) 各県支部に支部運営費を支出しました。
- 4) 平成24年1月7日、島根県支部が結成されました。

3、会報「あいたで」の発行

- 1) 藍蓼会と会員を結ぶ重要な役割である会報「あいたで」を発行し、会員2万9千名に送付しました。
- 2) 大学の現況、恩師や卒業生の動向をより詳しく掲載し、会員の多くの要望に答え「声・声・声」のコーナーを充実いたしました。
 - ・第90号 平成23年5月発行
 - ・第91号 平成23年12月発行

4、ホームページの管理

ホームページの全面リニューアルを行うために作成委員会（旗の台役員会）を結成し、24年度からの運用をめざし3回の委員会を開催し、内容の検討をしました。

5、財政基盤の確立

- 1) 平成23年度入学生の入会を促しました。
- 2) 入学時に未加入の一年生に8月と10月の2回、入会のお願いを送り入会を促しました。(入会率46.9%)

6、本部主催事業の開催

「ご退職なさる教職員を囲む会」を開催しました。

永年、文教大学に奉職され平成23年3月をもってご退職された教職員の皆様14名をお招きし、平成24年1月21日(土) ホテルニューオータニに於いて開催しました。

当日は卒業生、教職員120余名のご出席をいただきなごやかな時間となりました。会からの記念品として峯田義郎先生のブロンズ像を贈呈しました。

*ご退職教職員14名中7名のご出席でした。

7、会員相互の交流の促進

- 1) 研修活動への援助を行いました。

事務局に申請のあった下記の団体に会員交流促費を支出しました。

北海道支部、山形県支部、三重県支部、岩手県支部、青森県支部、富山県支部、島根県支部、美術専修卒業生研修会、S53卒理科クラス会、S45卒初体クラス会、98卒広報学科同窓会、S57卒初体クラス会、S49卒初数クラス会、マンドリンクラブOG会、国語専修・専攻同窓会、女子バレーボール部OG会、創作ダンス部OG会、児童文化研究会・ワンダーキッズOB交流会、女子ソフトテニス部OG会、96初音有志「いちご会」、藍泳会、弓道部正鶴会、S53卒初家クラス会

- 2) 学園祭に参加しました。

「文教大学藍蓼会会長賞授与」

学園祭参加団体の中から学園祭のテーマにふさわしい3団体に藍蓼会会長賞を授与しました。

越谷校舎

こどもといっしょワンダーキッズ(最優秀賞) ボランティア部Cフラフープ(優秀賞) A9太田ゼミ「震災と教育」(優秀賞)

湘南校舎

アカペラサークルCyAN(最優秀賞) 吹奏楽部(優秀賞) 田畑ゼミナール(優秀賞)

8、準会員の学生生活の援助、学生活動の援助

- 1) 学生生活への援助を行いました。
在學生2名の該当者がありました。
- 2) 学生活動への援助を行いました。
 - ・ 学生活動一般援助
新年度学友会役員との顔合わせ会、新入生歓迎スポーツ大会、学園祭、
課外活動表彰式懇親会、S1グランプリ、部活動運営費補助
 - ・ 学生活動特別援助
スキー部、野球部、吹奏楽部、トランポリン部、ライフセービング部

9、東日本大震災に対する支援

- 東日本大震災災害ボランティア活動に参加する学生に補助金を支給しました。
夏季休業、冬季休業に活動し申請のあった学生に補助金を支出しました。